

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 13-003

PDCA	事務事業名	狂犬病予防事業	部課等名	市民経済部 環境課 環境保全担当	担当	竹内	
					内線等	332	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第3節 生活環境の向上					
		基本施策： 3. 環境衛生対策					
		単位施策： (2) 環境衛生の維持・予防					
	根拠法令等	狂犬病予防法					
	対象・目的	狂犬病の発生を予防するため、半田市内で飼育されている全ての犬に対して狂犬病予防注射を実施させる。					
	目的を達成するための手段・活動内容	市が直接行う集合注射及び愛知県獣医師会への委託により、狂犬病予防注射を実施する。 また、畜犬台帳の適正化を図ることにより、市内で飼育されている犬の頭数と狂犬病予防注射の接種状況を正しく把握する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①集合注射の延べ開催回数	24	24	24	回	
		②新規登録の受付件数(無償交付等を除く)	498	486	477	頭	
		③高齢犬等の調査件数	20	109	86	頭	
		事業費	2,047	1,913	1,907	千円	
		人件費	3,049	2,855	3,968	千円	
		総事業費	5,096	4,768	5,875	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①登録犬1頭あたりコスト	685	646	809	円/頭		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①狂犬病予防注射接種率	実績値	86.6	84.6	85.4	%
			目標値	90.0	90.0	90.0	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	C					
		狂犬病予防の集合注射を市内各所において実施するとともに、畜犬台帳の適正化を図った。平成30年度は、ペットショップが登録飼主となっている状態の犬の現状調査と、平成29年度に引き続き、転出不明犬の調査を実施した。その結果、狂犬病予防注射接種率は平成29年度と比べ微増したが、目標達成には至らなかった。今後はより一層の飼い主への注射接種の周知と台帳の精査による適正化を図っていく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 予防接種をしていない犬の飼い主に対しては、広報への掲載回数を増やす等の啓発活動を強化する。また、畜犬台帳の適正化を図るため、高齢犬や転出犬などの登録状況の精査を引き続き進める。				
		令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位
			①狂犬病予防注射接種率			90	%